

感謝

2012年7月、“Cat1000”計画というものを提案しました。
今年中に白内障手術を年間1000眼できる体制を整えよう、
そして3年くらいでそれを実現しよう、というものでした。

当院は当初屈折矯正手術に特化して立ち上がりましたが、
私は subspeciality として一貫してグループ施設での白内障手術は続けておりました。
当院が白内障手術を開始したのは2007年の9月、
まさにレーシックの絶頂期で毎月非常に多くの手術を行っていた頃です。
私はレーシックに特化した診療に些か閉塞感を覚え、もっと医院での治療に幅を持たせたいと思っていましたし、
レーシックの好調がこのまま安易に続くはずがないという危機感もありました。
案の定、2008年にはリーマンショックがあり、その後のレーシックに対する風評被害などで施行数は激減し、
さらに消費者庁の報道によりその減少は留まることなく風前の灯状態になって来た今、
あの時白内障手術を開始していて本当によかったと思っています。

スタッフの努力とグループ医院のご協力のもとに開始された白内障手術。
“Cat1000”計画を掲げた2012年頃はまだ500眼ほどの手術をするに過ぎなかったのですが、
2015年にはついに1000眼の実績を達成することができました。
これはスタッフみなさんの努力のお陰であり、また周りの先生方のサポートのお陰、
そして何より当院での手術を望まれた患者様のお陰と本当に感謝しております。

今や多焦点眼内レンズを始めとするプレミアムレンズが続々登場し、屈折矯正を専門として、
術後の精度と満足度を求めて邁進してきた当院の技術的ノウハウが遺憾なく発揮できる舞台が整っております。
これも時代の流れに乗れたのだと嬉しく感じております。

私自身が眼科医になろうと思ったきっかけは白内障手術との出会いでした。
屈折矯正手術を中心に、私の原点とも言える白内障手術、そしてその他の眼科医療と幅広く行いながら、
これからも患者様に寄り添った温かみのある診療をスタッフ共々
行って参る所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋アイクリニック院長 中村 友昭

- 1988年 宮崎医科大学（現宮崎大学医学部）卒
- 日本眼科学会認定眼科専門医
- 日本抗加齢学会認定専門医
- 日本眼科学会屈折矯正手術講習会講師
- 日本眼内レンズ屈折手術学会誌編集委員
- 日本手術学会プログラム委員
- スターサージカル社認定 ICL インストラクター



アニュアルレポート発刊に寄せて

アニュアルレポートのご発刊、誠にありがとうございます。
名古屋アイクリニックは中部地方の屈折矯正手術の中核を担っている病院です。
クリニックでは中部地方で最初にレーシックを開始し、
また次世代の手術として注目された ReLEx smile をいち早く導入するなど、
屈折矯正手術に積極的に取り組んでこられました。

院長の中村友昭先生が決定されるこのようなクリニックの方針は、私と通じる部分があります。
中部と関東で場所は離れていますが、お互いに情報共有をしつつ切磋琢磨してきました。
Hole-ICL (KS-AquaPORT) の治験にご協力いただいた縁もありがとうございます。

ここ数年は学会のインストラクションコースやシンポジウムでご一緒させていただいたりもしますし、
あちこちで顔を拝見する機会があり、中部地方のみならず全国的にも著名な先生になりました。
昨年は SMILE 研究会を立ち上げられ、さらなる治療レベルの向上と情報発信にご尽力されています。
そのバイタリティと親しみやすいお人柄でどんどん周囲の人を巻き込んで、
様々なことにチャレンジしていったほしいです。

頼もしい優秀な先生も育てられています。
小島隆司先生には一昨年、我々の大学で主催している The 18th IRSJ 2014 にご登壇いただき、
Hole-ICL の使用経験・臨床成績についてご報告いただきました。
今後のご活躍が楽しみな若手のひとりだと思っています。

今後も患者さんに最良の医療を提供すべく、日々の診療研究にあたってほしいと思います。
期待しています。

北里大学医学部眼科学教室 教授
清水 公也 先生



<基本理念>

ハートのある医療

<基本方針>

常に最先端の医療で、安心と満足を提供します

患者様の意志と人格を尊重し、最善の医療を提供します

目のパートナーとして、いつまでも良い信頼関係を築きあげるように努めます

先進医療機関

当院は2009年5月1日、多焦点眼内レンズを用いた白内障手術に対し、厚生労働省より「先進医療実施医療機関」に認定されました。

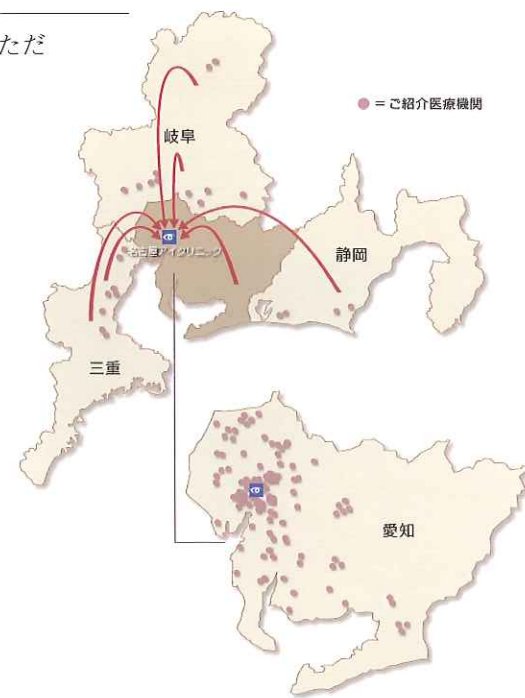
現在は、厚生労働省に承認されているレンズの他にも豊富な種類を取扱い、患者様にあった眼内レンズを選択しています。多焦点眼内レンズの手術実績は2015年12月18日現在694眼に達し、その内48%の方が生命保険の先進医療特約を利用されました。



他院からのご紹介

県内外 200 施設以上もの病院や一般眼科様から、患者様をご紹介いただいています。

■ 2015 年のご紹介内訳

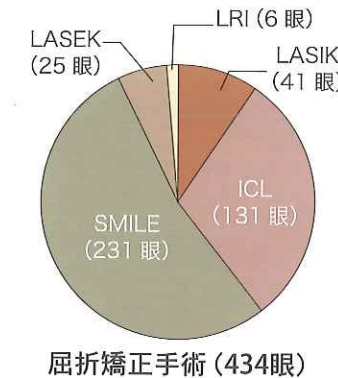


■ 病診連携

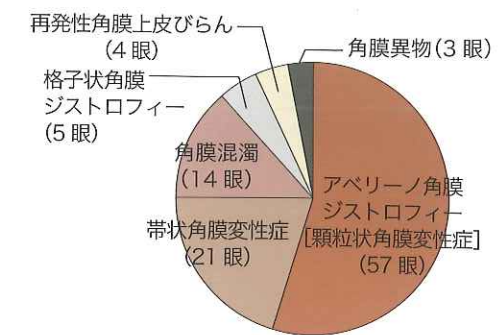
当院から約 10 分の距離にある JCHO 中京病院と病診連携を結んでいるため、重篤な患者様でも速やかにご紹介することが可能です。



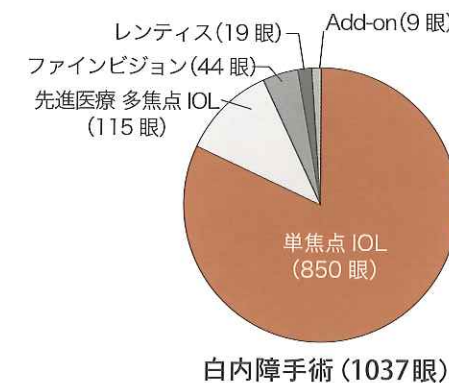
2015 年手術件数



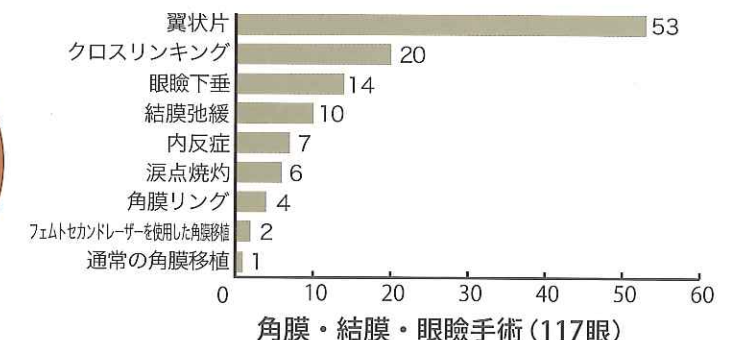
屈折矯正手術 (434 眼)



PTK の対象疾患 (104 眼)



白内障手術 (1037 眼)



角膜・結膜・眼瞼手術 (117 眼)

<これまでの手術眼数累計> 2015 年 12 月 28 日現在

- レーザー屈折矯正手術 = 16,452 眼※
- ICL (フェイキック IOL) = 1,281 眼
- 白内障手術 = 4,562 眼 (内訳: 単焦点レンズ = 3,868 眼、多焦点レンズ = 694 眼)

※ 1999 年 1 月に中部地方で初めてレーシックを開始し、17 年の実績があります

2015 年トピックス Topics

■ 3 焦点眼内レンズ

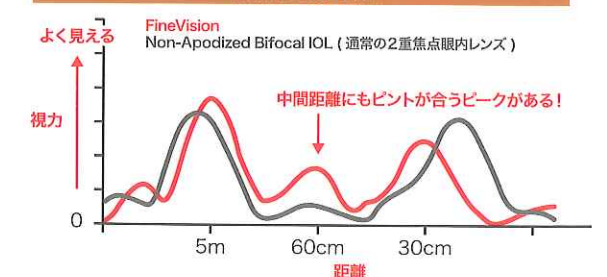
ファインビジョンは、PhysIOL 社 (ベルギー) から 2011 年に発売された、遠くと近く (40cm) と中間距離 (65cm) の 3 点に焦点が合う眼内レンズです。材質は親水性アクリルで、ブルーライトと紫外線をカットしています。レンズは、アポダイズド回折型で非球面デザイン。アポダイズド構造により 2 焦点レンズに比べ、グレア、ハローが軽減されています。

当院では 2014 年 12 月から使用を開始し、現在 29 名 (44 眼) の方がファインビジョンを選択されています。遠方、近方は従来の多焦点 (2 焦点) レンズと同等、中間距離 60cm においては多焦点眼内レンズの中で最も良い結果が得られています。また視機能においても、グレア・ハローを訴える症例が少なく安心してお勧めできるレンズと実感しています。

ファインビジョン視力推移



焦点深度曲線

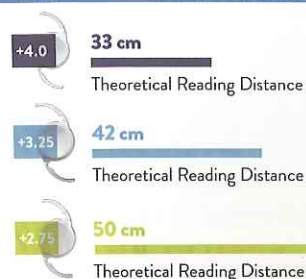


■ テクマルファミリー

先進医療対象のテクニスマルチフォーカルの加入度数が3種類になりました。33cm、42cm、50cmの焦点から選んでいただきます。

TECNIS® Multifocal Family of IOLs
瞳孔径に依存しない良好な視機能を提供するTMFの新たな選択肢

患者さま一人ひとりのライフスタイルに合わせた良好な視力の提供



■ 自動予約機の設置

患者様をお待たせしない取り組みの一環として自動予約機を設置しました。タッチパネル方式で操作も簡単なため、ご年配の方にもご利用いただいています。



■ コンシェルジュ部の創設

患者様からのご相談やご要望にいつでも対応できる部署を設立しました。専用のデスクを設け、ホテルのコンシェルジュのような「ノーと言わないサービス」を目標とし活動をしています。

■ 看板と時計を設置

通行される方のお役に立てばと、金山の交差点に電子時計を設置しました。



新しい機器 *New Equipment*

■ OA-2000 (眼軸長測定装置)

フーリエドメイン方式により、測定率が高く高速測定が可能。また高い組織侵透性により、最大7種類の測定データがワンショットで取得できるため、患者様に負担をかけることなく検査が可能になりました。



■ 炭酸ガスレーザー

眼瞼下垂、眼瞼内反症などの瞼の治療の際に、切開と止血が同時にできるため、出血と術後の瞼の腫れを最小限に抑えることが可能になりました。



医師紹介 *Doctors*

角膜移植術、屈折矯正手術、白内障手術、ドライアイをはじめとする前眼部治療のスペシャリストです。経験豊富な眼科専門医が最後まで責任をもって、大切な目の治療を担当します。



■ 吉田 陽子 (名古屋アイクリニック副院長)

● 1995 年 福島県立医科大学卒

今年は父が黄斑円孔で手術を受け、娘たち2人も手術を受けるための入院を致しました。患者として、また患者家族としていろいろ考えさせられ、患者様には安心して治療を受けていただけるよう、ますます心掛けようと思いました。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。



■ 小島 隆司 (非常勤医師)

● 1998 年 名古屋大学医学部卒

日本が世界の先進国に先んじて超高齢化社会へ向かう中、私は患者様の目の長期的な健康を考えて診療を行っています。昨今、インターネットによる情報の氾濫などにより、整理できない情報で不安いっぱいになり外来に飛び込んでこられる患者様をよく見かけます。私の外来では病気の説明から治療方針の決定まで、科学的根拠に基づいて、できるだけ分かりやすくご説明し、最終的には患者様の意見も取り入れ治療方針を決定しています。



■ 長谷川 亜里 (非常勤医師)

● 2006 年 山口大学医学部卒

ちょっと美味しいものを食べたいと思ったとき、レストランのクチコミや評価を検索サイトで簡単に調べられる便利な時代になりました。病院選びや治療選択においても、インターネットを活用して本当によく勉強されている患者様が多いと感じますが、偏った、あるいは誇張された情報を含んだ多くの選択肢の前に、戸惑われる方も多いと思います。個々の患者様にあった治療法と一緒に考え、十分ご納得いただいて治療を受けていただくことを大切に、診療を行っていきたいと考えています。



■ 水野 泰子 (非常勤医師)

● 2006 年 岡山大学医学部卒

私自身、名古屋アイクリニックで5年前にレーシックの手術を受けました。その際、屈折矯正治療の恩恵の大きさを身をもって実感したのはもとより、最先端の素晴らしい医療を、患者様ひとりひとりに寄り添いながら丁寧に提供する姿勢と環境に感銘を受けました。この度、クリニックの一員として診療に携わらせていただけることになり、とても嬉しく思うと同時に大変身の引き締まる思いです。恵まれた環境の中、日進月歩の眼科医療の勉強を常に怠らず、患者様が長く健やかな毎日を送れるためのより良い治療法を提案できるよう、努力して参ります。今後ともご指導のほど何卒よろしくお願い致します。

スタッフ紹介 *Staff*



看護部

4つの基本概念「健康の増進」「疾病の予防」「健康の回復」「苦痛の緩和」を念頭に置き、患者様と心かよいあう看護を提供できるよう努力しています。外来チーム、手術チームともに切磋琢磨し、看護師としての専門分野のレベルアップも図っています。また患者様と医師や視能訓練士、事務スタッフとの橋渡しの役割も担っています。新しい取り組みとして舌下免疫療法の指導も行っています。



検査部

国家資格を有する検査員全員が、中京病院眼科での研修を経て、多岐にわたる症例を経験し、必要な検査を正確かつ迅速に行うことができます。検査の際には、患者様のお話にしっかりと耳を傾けて、少しでも快適に検査を受けていただけるよう心がけています。また白内障手術においては、屈折矯正手術の施設ならではの眼内レンズの度数や種類の提案ができ、メガネを合わせる際もしっかりと要望をお聞きして、患者様に満足いただける結果をご提供しています。



事務部

患者様をお出迎えする受付以外にも、カウンセリングや手術の説明、医師の診療サポートなど、幅広く業務を担当しています。学会や勉強会に参加して個人のレベルアップを図り、意欲的にさまざまな分野の勉強をしています。また、いつも笑顔で、患者様に寄り添った対応を心がけ、レベルの高い接遇を目指しています。



コンシェルジュ部

すぐにお声をかけていただけるようにデスクを待合室の前方に配し、診療・手術のご予約、ご相談等を承っています。診察の時に聞き忘れたこと、医師に伝え足りなかったこと、目薬の使い方など様々な問合せに対応します。診療内容の枠にとらわれず、診察後にお立ち寄りになるレストランのご相談や、今から行ける美容院の問合せを受けることもあります。また、遠方から来院される患者様の宿泊予約やタクシーの手配、院内の飲み物の種類やお菓子の内容にも気を配ります。目標は、ホテルのコンシェルジュ。「ノーと言わないサービス」を目指し、できる限りの対応をさせていただきます。

施設紹介 *Facilities*

外観



ビル入口



医院入口



総合受付



待合室



待合室



キッズスペース



検査室



検査室



診察室



カウンセリングルーム



眼精疲労マッサージルーム



4F 受付



4F 待合室



キッズルーム



手術室



屈折矯正手術機器



リカバリー室



ホスピタリティ *Hospitality*

■待合室

車いすスペースを設置し、季節に合ったアロマ、給茶器や飴などもご用意。待ち時間を快適に過ごしていただけるように、患者様にやさしい待合室を目指しています。



■パウダールーム

お化粧直しなどに使っていただけるパウダールームを用意しています。



■ホテルサービス

自費の手術を受けられる患者様には、無料でホテルに宿泊していただけるプランも用意しています。



ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋ロビー

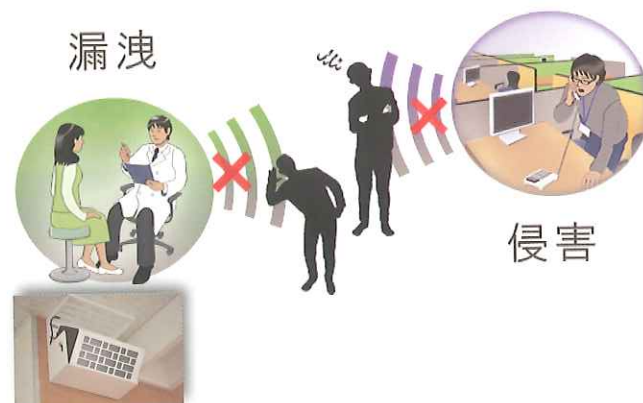
■コンシェルジュデスク

患者様の様々な要望をお聞きできるように設置しています。



■スピーチプライバシー

診察室やカウンセリングルームには、会話情報を保護するスピーチプライバシーを設置しています。



■タクシーサービス

手術日には、配慮の行き届いたデラックスタクシーにて安心してお帰りいただけるサービスを行っています。



タクシーの送迎

子育て支援 *Child care support*

■キッズスペース

待っている間も飽きないようにお子様用 DVD やおもちゃなどを用意しています。



■託児サービス「Kid's Eye Club」

時間のかかる検査や手術日に、保育士の資格・育児経験のあるスタッフが専用ルームにてお子様を大切にお預かりします。お母様だけでなく、お父様が手術をされる際にもご利用いただけます。

■おむつ交換台

女性用お手洗いに、おむつを交換できる簡易ベビーベッドを設けています。

情報発信 *Information*



院長ブログ「レーシック徒然草」
日常で感じたことなどを勝手気ままに語るブログ。



小島医師ブログ「角膜外来日記」
ドライアイ、特殊コンタクトレンズ外来の診療で感じたことをノンフィクションで書き綴っています。

手術レポート 1/6 手術実績

白内障：20名 PTK：2名

今年最初の手術日は、緊急性のある患者様も急めたくさんの手術がありました。比較的若い方の場合、年配の方の白内障と違い急に悪化することがあります。お仕事も忙しいためそのままにしている方もありますが、手術の難易度が上がりますので、気づいた場合は早めに来院してください。



ちょっといい話
診療を通してスタッフが院内で見つけた心温まる「ちょっといい話」を毎週1回お届け。



ツイッター
https://twitter.com/Lasik_NIC
スタッフが目に関する様々な情報や医院の最新情報を随時つぶやいています。

手術レポート

手術日には、主な手術の件数と患者様の様子をレポートしています。

■地下鉄アナウンス

地下鉄名城線金山駅で、乗降客に対して当院のアナウンスが流れています。

メディアリリース *Media release*

■岐阜ラジオ「月～金ラジオ2時6時」の

「目からウロコ! 眼科最前線」のコーナーに3月まで出演

■「全国の頼れるドクター」に掲載されました

■安心レーシック完全ガイド ～レーシックで後悔しないための必読書～



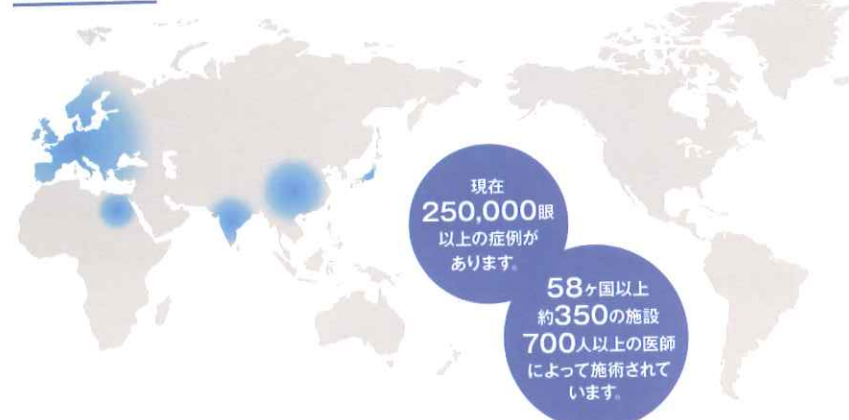
屈折矯正治療 *Refractive Surgery*

■ ReLEx smile

レーザー近視矯正手術は ReLEx smile (リレックススマイル) の時代へ

当院は北里大学に続いて国内で2番目にリレックススマイルを導入し、3年が経過しました。とても良好な結果を得ており、現在では近視矯正手術を希望される方のうち80%以上の患者様がリレックススマイルを選択されています。

ReLEx® smile



世界中の著名な先生方が推奨しています。

私はレーシックを完全にやめました。

なぜなら、スマイルの方がすべての面で優れているからです。

清水公也教授/日本

"I've stopped using LASIK totally. Why? Because SMILE is simply better in every respect."
Kimiya Shimizu, Japan, WOC 2014 Tokyo

口元だけでなく、目にもスマイル(微笑み)を
シャー先生/インド

"SMILE is LASIK without a flap and PRK without pain."
Rupal Shah, India, ESCRS 2011 Vienna

スマイルは、患者にとっても医師にとっても、
完璧な手術方法と言える。

ラインスティン先生/英国

"It used to be said that PRK was the perfect procedure from a surgeon's standpoint and that LASIK was the perfect procedure from a patient's standpoint. I think we can now say that SMILE is the perfect procedure from both the patient's and the surgeon's standpoint."
Dan Reinstein, UK, AVRO, 2014 Orlando

傷口の小さい手術は、
眼科学において大きな進歩である

ワイルド先生/ベルギー

"Small incision surgery is a huge step in ophthalmology."
Fernand De Wilde, Belgium, ERLS 2015 Florence

患者は視力の質と高い安全性を求める。
それこそが、私達がスマイルを選ぶ理由だ。
小さい傷口は大きな満足につながる。

フェルナンデス先生/スペイン

"Patients want quality of vision and a high level of safety. That's why we choose SMILE. Small incision - great patient satisfaction."
Joaquin Fernandez, Spain, ESCRS 2014 London

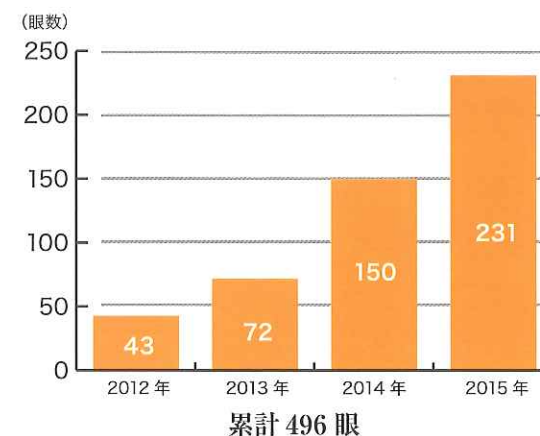
■ ReLEx smile (リレックススマイル) が推奨される理由

角膜上皮層の切開がレーシックに比べ10分の1(2mm)のため多くの利点があります。

- ①痛みが少ない。
- ②角膜上皮層に密集している知覚神経を温存できるため、ドライアイになりにくい。
- ③角膜強度の低下が少ないため、近視への戻りが少なくケラトエクタジアになりにくい。
- ④フラップ作成に伴う合併症の心配がない。

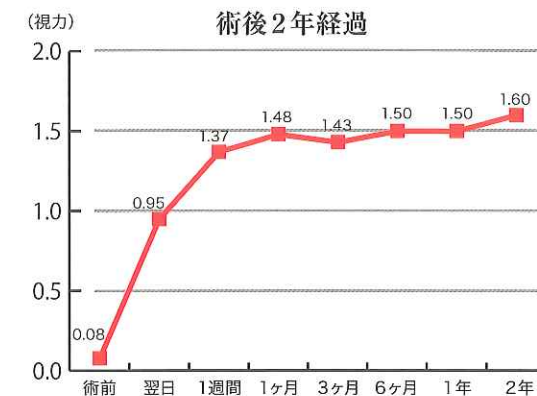


■ 2015年リレックススマイル実績数 231眼



スマイルの安全性が認知され、実績数は飛躍的に伸びています。

■ リレックススマイルデータ



術直後の視力の回復はやや遅いものの、術後1ヶ月で良好となり、その後の安定性はレーシックを上回ります。

■ スマイル研究会の発足

北里大学の清水教授や中村院長を中心とし、日本において世界最先端の屈折矯正手術リレックススマイルを施行している大学や病院、診療所が、その医療技術や臨床経験の情報交換を行い、更なる治療レベルの向上を図るために発足した会です。現在事務局は名古屋アイクリニック内に設置しており、院長は世話人として研究会に尽力しています。



<http://www.relex-smile.jp/>

■ リレックススマイル体験談

<毛利 彩香様 (看護師:手術当時は学生) 21歳> 手術前視力 右:0.1 左:0.1 手術後視力 右:1.5 左:1.5



当時、看護学部の3年生で実習などが忙しく、コンタクトレンズの管理が面倒だったのでとても楽になりました。サークル活動ではオーケストラに所属してフルートを吹いていましたが、楽譜の細かいところまではっきり見え、ずっと見ても乾燥して霞むことがなくなりました。旅行の時もケア用品の準備などがわずらわしかったので、本当に裸眼での生活は快適です。現在は大学病院の皮膚科整形外科で看護師として働いています。夜勤の時、メガネやコンタクトレンズを使っている同僚は苦労しているので、学生の間に手術を受けておいて良かったと思います。患者さんの顔はすぐ覚えられますし、表情の変化も見逃しません。電子カルテやナースコールのランプも、部屋が暗くても問題なく見やすいです。

■ LASIK

レーシックを開始して17年、16000眼以上の手術を行い、あらためて患者様の満足度が高い手術だと実感しています。当院では、フェムトセカンドレーザーの中でも極めて高い性能を誇る『VisuMax』を、2008年にアジア太平洋地域で最初に導入。この次世代型レーザーを用いることで、従来のレーシックよりもさらに薄く精度の高いフラップの作成が可能になりました。エキシマレーザー MEL80 の照射は、患者様の目に合わせたオーダーメイド照射（wavefront guided LASIK）で行っています。

●安心 LASIK ネットワークの発足当初からの会員です。

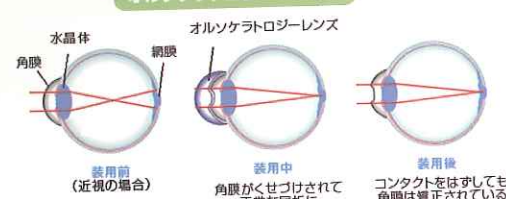
安心 LASIK ネットワークは、レーシックの正しい情報を発信し、手術後のフォローまでトータルな医療を行うことを目的として作られた大学病院と眼科専門医のネットワークです。



■ オルソケラトロジー

就寝時に装用する特殊な加工がされたハードコンタクトレンズで、装用開始から2週間ほどで日中は裸眼で良好な視力を保てるようになります。スポーツなどでメガネやコンタクトレンズが装用できない方にお勧めです。最近では、中年の方の利用者が増えました。老眼もあまり気にならないようで快適に過ごされています。

オルソケラトロジーの仕組み



☆医療費控除の対象です。

オルソケラトロジーレンズ「プレスオーコレクト/マイエメラルド」は、厚生労働省によって認可されています。

■ 屈折ずれに対するタッチアップ

眼内レンズによる調整（アドオンレンズ）

レイナー社のサルコフレックスと1stQ社のAddOnレンズを使用し、白内障術後の屈折エラーやターゲットに不満をお持ちの患者様に対して、ピギーバック法で度数調整を行っています。単焦点レンズ挿入後に、多焦点レンズへの変更を希望される方にも対応が可能です。



▲1stQ社AddOnレンズ



▲レイナー社サルコフレックス

レーザーによる調整（タッチアップLASIK）

白内障術後の屈折エラーや残余乱視に対して、目に優しいフェムトセカンドレーザーを使用したタッチアップLASIKを行っています。

■ レーシック後や円錐角膜の眼内レンズ度数計算

現在レーシック術後の決定的な眼内レンズ度数計算式は存在しませんが、当院では様々な計算式を用い、症例ごとに微調整を加えて眼内レンズの計算をしています。その結果、手術3ヶ月後の矯正精度は平均 $\pm 0.51D$ と満足いく結果を得ています。また円錐角膜などの不正乱視に対しても、眼内レンズ計算のノウハウを蓄積しています。もしお困りの先生がいらっしゃいましたら、眼内レンズ度数計算だけでもさせていただきますのでご紹介ください。

■ 学会発表・論文紹介

◎第51回日本眼科学会総会

片岡高博：「スマイル術前後の非球面係数の変化の検討」

◎第69回日本臨床眼科学会

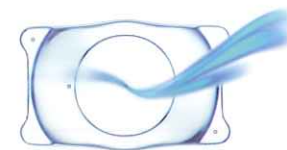
中村友昭：シンポジウム「老眼レーシック」

吉田陽子：「SMILE手術における角膜後面変化について」

■ Hole ICL（貫通孔付き）

10年以上経過したICL

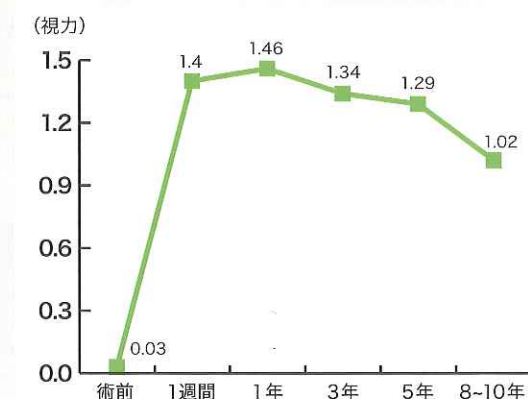
2012年10月から開始したホールICLは北里大学 清水公也教授の考案による新しいタイプのレンズで、従来のICLの中心に0.36mmの小さな穴が開いており、そこから房水が流れるよう設計されています。そのため、白内障や緑内障といった術後合併症が起こりにくく、術前に行っていたレーザー虹彩切開を必要としないため、患者様への負担もより少なくなりました。現在では全ての患者様がホールICLを選択されています。



※中心0.36mmの穴から房水の循環が行われ、視力や視機能に影響はないと言われています。

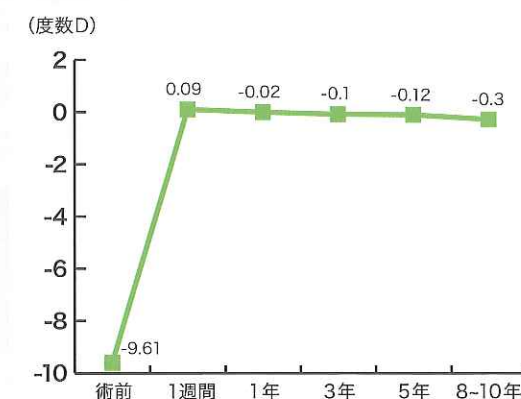
2005年にICLを開始して10年が経過しました。現在までに1281眼の手術を行い、安全性・有効性ともに確かな結果を得ることができ、素晴らしい手術だと実感しています。またホールICLを導入し3年、318眼の手術を施行し、現在に至るまで白内障、緑内障などの合併症はありません。

ICL術後10年における裸眼視力の推移



長期的にみると裸眼視力は低下する傾向にありますが、10年経過時でも平均1.0を上回る視力を維持できています。

ICL術後10年における等価球面度数の推移



術後屈折値は非常に安定しています。10年経過時には若干の近視化を認めますが、老視年齢の方にはかえって都合が良いようです。

■ ICL 適応範囲の拡大

ICL開始当初は-10Dを越えるような高度近視、角膜が薄い方や円錐角膜疑いなどの症例のみが対象とされていました。現在ではICLの有用性は世界各国で認められ、レーシックに対して優位性があるとの報告もあり、適応範囲が拡大しています。当院でもレーシックの対象とされる軽度～中等度の近視の方でもICLを希望されるようになってきました。

■ 2015年ICL実績数 131眼



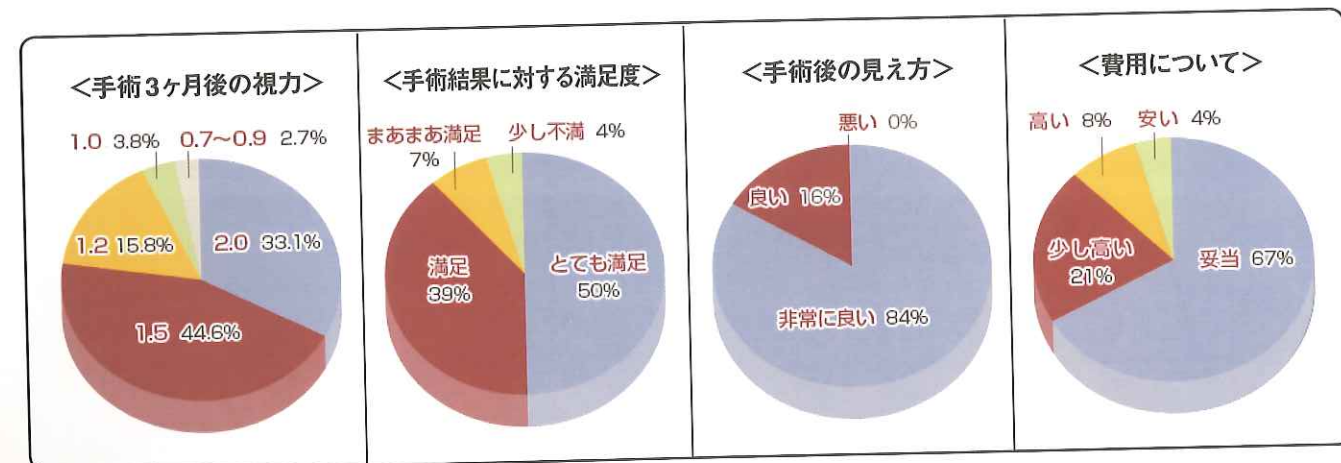
ここ数年、手術数に大きな変化はありませんでしたが、適応範囲が拡大していることもあり、2015年からは増加傾向にあります。

■ ICL 体験談

医療関係者が数多く手術を受けています。

<K.S 様（眼科医）31 歳> 手術前視力 右：0.05 左：0.05 手術後視力 右：1.5 左：2.0
私は近視が強いのでレーシックは難しいと思っていましたし、手術を受ける際には、より安全性の高いホール ICL が出来てからと考えていました。専門書を読んでも名古屋アイクリニックの名前が出てくると、症例が多いこと、医療関係者が多く受けているなどの理由から手術をお願いしました。朝起きて、薄暗い中で時計を見てもすぐ時間がわかり、仕事ではコンタクトレンズの辛さがなくなって、診療時の見え方の精度も上がり、快適さを感じています。運転が好きなので、メガネやコンタクトレンズなしで遠くがよく見えるのは非常に便利だということを実感しています。

<鈴木 純二様（歯科医）59 歳> 手術前視力 右：0.07 左：0.08 手術後視力 右：1.0 左：1.0
どんな手術でもリスクとベネフィットがありますが、入れ替えができるということは非常に安全だと思い手術を決めました。またしっかりとしたエビデンスに基づいた治療であることも決め手になりました。以前はハードコンタクトレンズを使っていたので、オベ中に落として大騒ぎすることもありましたが、今は薄い老眼鏡をかけるだけで良いので快適です。趣味のゴルフも楽しんでいきます。よりアクティブに生活できるようになるので、この手術はアンチエイジングと言えらると思います。ICL はまだまだ知られていない手術なので、もっと多くの人に知ってもらいたいと、周りの知人にも勧めていますよ。



■ 学会発表・論文紹介

◎第 30 回 JSCRS 学術総会

中村友昭：シンポジウム「円錐角膜に対する屈折矯正手術」

中村友昭：「ICL 術後の白内障」

◎第 54 回日本白内障学会総会・第 41 回水晶体研究会

市川翔：「ICL 挿入術後白内障の病型」

◎第 69 回日本臨床眼科学会

中村友昭：インストラクションコース「白内障サージャンも必見！ LI 不要！貫通孔付き有水晶体眼内レンズをマスターしよう」

白内障手術

白内障手術に対するこだわり

名古屋アイクリニックでは屈折矯正専門施設ならではの強みを生かし、術後の見え方や満足度にこだわった白内障手術を行っています。2015 年は兼ねてから目標としていた年間 1000 眼を達成することができました。

1. 多彩な眼内レンズ

患者様の目に最適な眼内レンズが選択できるように多くの種類を取り扱っています。

■ 単焦点レンズ ※当院で使用している眼内レンズの一部



2015年単焦点眼内レンズ実績数 850 眼

■ 多焦点レンズ

レンズ外観					
名称	Tecnis Multifocal テクニスマルチ	ReSTOR レストア	iSii アイシー	Lentis レンティス	FineVision ファインビジョン
光学部デザイン	回折型	回折型	屈折型	分節状屈折型	回折型
乱視矯正	無し	有り (40cm のみ)	無し	有り	有り
焦点の数	2 点	2 点	2 点	2 点	3 点
選べる 近くの焦点距離	33cm、42cm、50cm	30cm、40cm、50cm	50cm	40cm	40cm と 65cm
先進医療	○	○	○	×	×

★多焦点眼内レンズ選択のトレンド

従来の多焦点レンズの近方焦点は30cmが主流でしたが、最近ではこのレンズを希望する方は、パソコンを使用したり、カーナビを見ながら運転したりとアクティブに生活されている方が多く、40cm～70cmの焦点距離が重要だということが国内外で言われるようになってきました。当院で使用しているテクニスマルチは、患者様の生活スタイルに合わせ、近方は33cm、42cm、50cmのどの距離に合わせるかを選択でき、先進医療の対象です。ファインビジョン®は遠方、中間65cm、近方40cmにも焦点が合うため、生活の質を高めたいというご希望にもお応えできるレンズです。(※先進医療対象外です)



日常作業の多くは40～70cmです

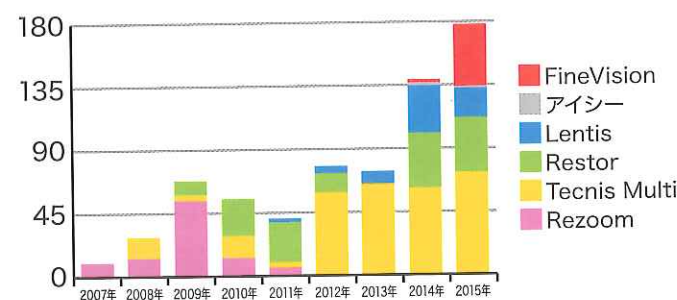
★ファインビジョン体験談



＜40代男性外科医 左目のみ白内障になり3焦点眼内レンズ ファインビジョンで手術＞
手術後視力 遠見:1.5 中間:1.2 近見:1.0
10cmより手前以外は、手元、中間、遠くと特に境目なく全部見えますので、手術の際も全く問題ありません。今後、右目の手術が必要になったら、もちろんこのレンズでお願いします。

2015年多焦点眼内レンズ実績数 178眼

名古屋アイクリニックの実績



白内障の手術件数の増加に伴い、多焦点レンズの件数も増加しています。先進医療対象のレンズだけではなく、ファインビジョンやレンティスの使用割合も多くなっています。

2. ライフスタイルに合わせた目標屈折値のご提案

カウンセリングで今までの見え方や生活スタイル、術後にどのようなことにチャレンジしたいかなど、患者様のご希望を、時間をかけてお聞きし、眼内レンズの目標屈折値を決めています。多焦点をご希望の方には、各種レンズの特性をわかりやすく説明し、患者様に向いているレンズと一緒に考え、納得いく選択をしていただけるように心がけています。



3. 小切開(角膜切開)手術

眼内レンズのインジェクター最小挿入可能幅の2.4mm～2.5mmで手術を行っています。また角膜強主経線切開で、惹起乱視による術後視力への影響を最小限に抑えています。

■学会発表・論文紹介

◎第3回 JSCRS サマーセミナー
中村友昭:「トリフォーカル眼内レンズ」

◎第54回日本白内障学会総会・第41回水晶体研究会
磯谷尚輝:「回折型3焦点眼内レンズ FINE VISIONの術後早期成績」

◎第38回日本手術学会学術総会
吉田陽子:「左右に異なる屈折型多焦点眼内レンズを挿入した一例」

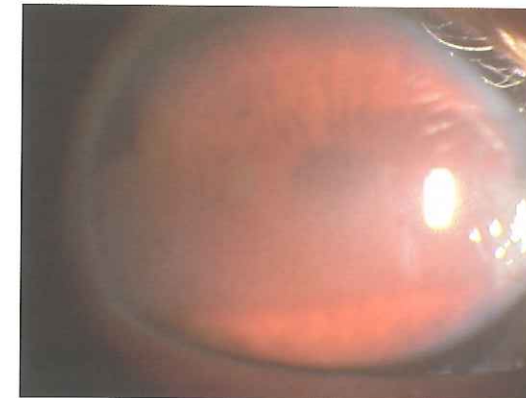
角膜・結膜・眼瞼治療

角膜外来は、難治性角膜ヘルペスのような感染症、外傷後や角膜ジストロフィーなどによる角膜混濁、円錐角膜などをはじめとする眼表面のあらゆる病気を対象にしています。

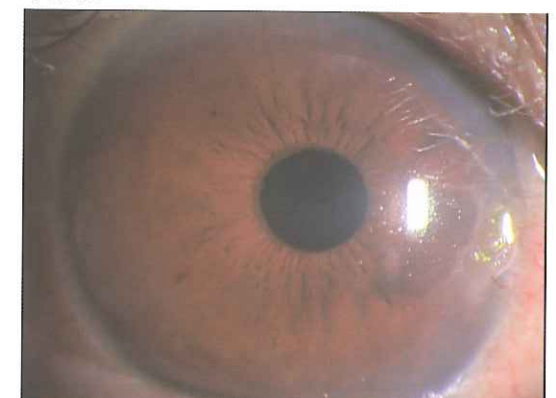
PTK: 治療的角膜切除術

エキシマレーザーを使用して、角膜の混濁を取り除きます。帯状角膜変性症などの角膜表層混濁、角膜ジストロフィー、アペリーノ角膜変性症、再発性角膜上皮びらんなどに有効です。従来の方法でPTKを行うと、角膜表層の不整が残り、角膜の扁平化により遠視化が起こります。そのため混濁は取れても視機能の低下が続き、矯正視力は上がるものの裸眼視力が低下する症例もあります。また、どの程度まで混濁を除去するのか見極めも難しく、単にレーザー照射をするだけでは、角膜が不整になり、術前よりも矯正視力が低下する場合があります。そこで当院では、術後の良好な裸眼視力を目指したPTRK (Phototherapeutic Refractive Keratectomy) を考案しました。PTRKは角膜混濁例に対し、混濁除去だけでなく屈折矯正も行うため、矯正視力だけでなく裸眼視力も良好となり、術後のQOLを改善することが出来る満足度の高い手術手技と思われます。中村院長はこれらをまとめ、2014年JSCRSで『術後屈折に配慮した治療的角膜切除術 PTRK』を発表し、Best of Refractive Surgery に選ばれました。

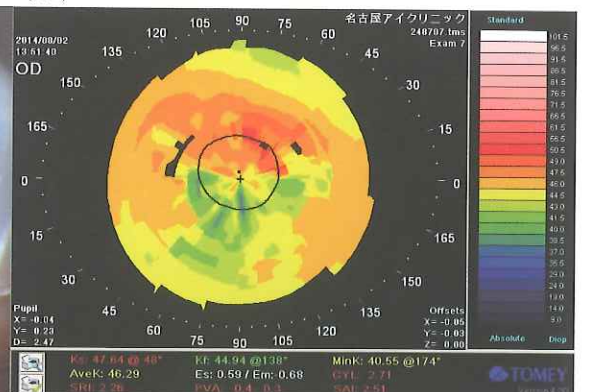
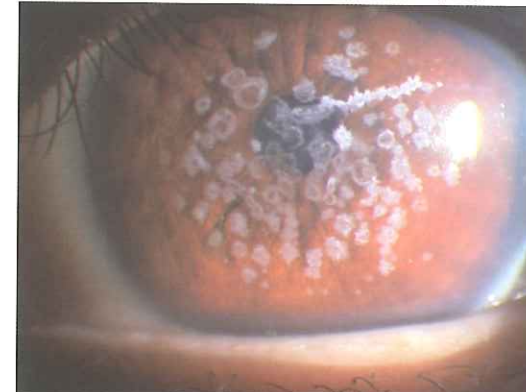
帯状角膜変性症手術前



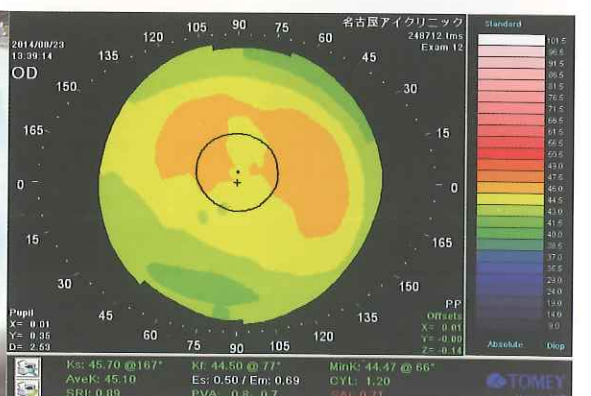
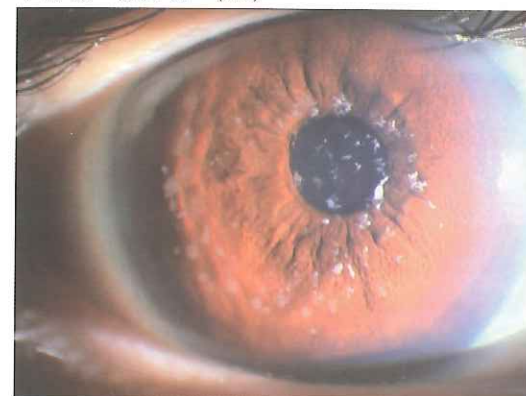
手術後



顆粒状角膜ジストロフィー 手術前 視力0.15 (0.4)



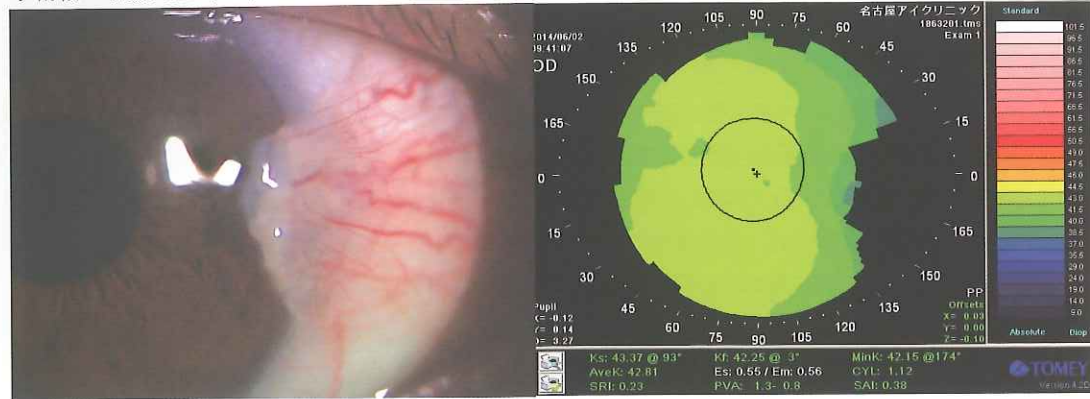
手術後 視力0.7 (0.8)



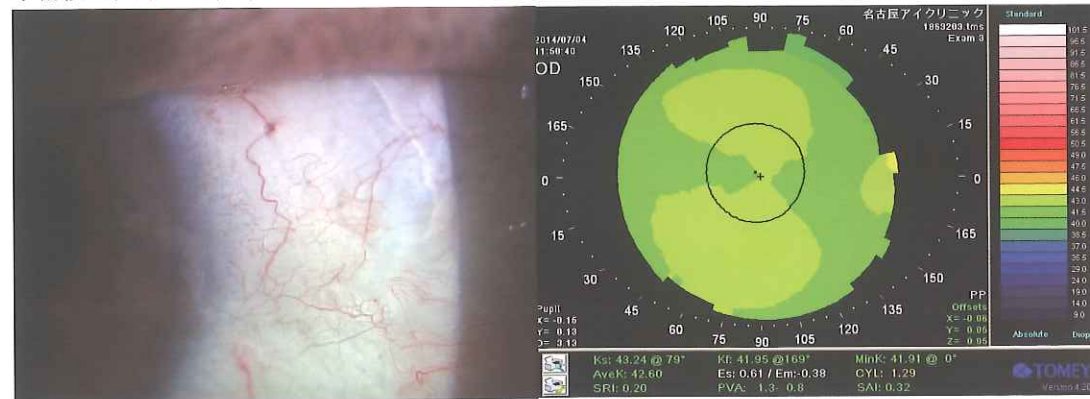
■ 翼状片手術

翼状片は角膜不正乱視を惹起して視機能にも大きく影響を与えることが知られています。当院では充血を残さない美しい仕上がりを目標に手術を行っており、再発率はほぼ0%です。基本的な術式は、遊離移植弁を使用した切除術で、約20分の日帰り手術です。再発例には、羊膜移植、マイトマイシンを組み合わせ、難治性の翼状片でも視力を回復することができます。

手術前 視力 1.2 (n.c.)



手術後 視力 1.5 (1.5)



■ ドライアイ外来

一言でドライアイと言っても、様々なタイプのドライアイが存在します。現在ドライアイ研究会が提唱しているのが、涙液層のどこに異常があるかを診断 (Tear film oriented diagnosis) して、どの層を治療するのか (Tear film oriented therapy) を決める方法です。油層の異常の場合は、マイボーム腺炎の治療、マイボーム腺マッサージの指導などを行っています。またマイボグラフィを導入し、マイボーム腺の画像診断も可能になりました。水層の異常に対しては、涙点プラグ、ジクアホソル点眼などを組み合わせて治療しています。角結膜上皮層の異常に対しては、レパミピド点眼や自己血清点眼で傷の修復を促します。このように、ドライアイでも涙のどこに異常があるのか総合的に判断して治療を行っています。



オプティエイド DE

ラクトフェリンやオメガ3脂肪酸が含まれている、ドライアイの改善が期待されるサプリメントが登場しました。

■ 円錐角膜治療

● 角膜クロスリンキング

円錐角膜の進行予防治療として欧州ではスタンダードとなっており、角膜実質コラーゲンの架橋により角膜の強度を向上させます。2015年のJSCRS学術総会で当院におけるドレスデン法角膜クロスリンキング (最もオーソドックスな方法) 術の中期治療効果を報告しました。円錐角膜の進行を止めるだけでなく、術前後での裸眼視力、矯正視力の有意な向上、角膜のフラット化が得られました。また高速クロスリンキングの導入により、従来では30分だった照射時間が5分になり、患者様の負担が大幅に軽減されました。

- ・症例数: 56眼 ・平均年齢: 22.9歳 (14~34歳) ・平均経過観察期間: 18.5ヶ月
- ・術前からの平均角膜屈折力変化 術後1年: -1.20D、術後2年: -1.34D ・術後2年時に進行を認めなかった症例の割合: 96%

2年以内に円錐角膜が進行したと推測される症例が最も良い手術適応で、より早期の段階ほど効果が高いと言われています。例えば、最近メガネが合わなくなって来院し、円錐角膜と診断されるような若年者の初期症例がこの治療に向くと考えています。

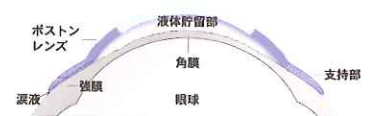


● ハードコンタクトレンズ

円錐角膜の場合、通常のハードコンタクトレンズでは装用感が悪く、長時間装用できないことがあります。当院では円錐角膜や不正乱視専用のコンタクトレンズを扱っており、様々な症例に対応できるようにしています。

● ボストンレンズ (強膜固定レンズ)

強膜でレンズを固定する構造になっており、レンズと角膜の間に生理食塩水を満たすことで、レンズが角膜に触れることなく視力矯正が可能です。異物感がほとんどないためハードコンタクトレンズの装用が困難な方に適しています。



● 角膜リング

角膜実質内にフェムトセカンドレーザーでトンネルを作成し、リングを入れることで角膜の不正乱視をある程度軽減することができます。



● レーザー角膜移植

当院ではフェムトセカンドレーザーを使用した角膜移植を日帰りで行っています。手術は局所麻酔下1時間程度で、それほど体に負担になるような手術ではありません。術式は、術後に拒絶反応のリスクが少ない角膜深層移植を第一選択に行っています。入院が必要な方は中京グループのJCHO中京病院、または岐阜赤十字病院に紹介させていただき、小島医師の執刀で手術を行っています。

学会発表・論文紹介

◎角膜カンファランス 2015 第 39 回日本角膜学会総会／第 31 回日本角膜移植学会
高木麻里：「円錐角膜に対して角膜リング（Keraring）を使用した初期症例の手術成績」

◎第 30 回 JSCRS 学術総会
中村友昭：シンポジウム「円錐角膜に対する屈折矯正手術」
小島隆司：「角膜クロスリンキングの初期・中期成績の報告」
小島隆司：インストラクションコース「実践！円錐角膜診断から治療まで」

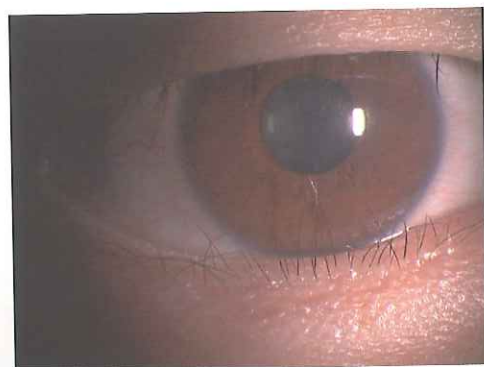
◎第 69 回日本臨床眼科学会
中村友昭：インストラクションコース「屈折矯正手術 2015 治療的角膜屈折手術」
小島隆司：「進行性円錐角膜症例における角膜クロスリンキング前後の角膜の生体力学特性の変化」

眼瞼下垂

瞼が下がると見づらくなったり視野が狭くなったりします。多くの原因は、年齢とともに瞼を上げる筋肉の力が弱くなるため起こりますが、ハードコンタクトレンズを長期間使用されたことで起こる眼瞼下垂もあります。術式は埋没法、ミューラー筋前転法及び挙筋腱膜前転法など、患者様の状態に応じて選択しています。

眼瞼内反症

よく「逆まつ毛」と言われますが、実際は瞼が内側に向いてしまうためにまつ毛が眼表面に当たって異物感を感じたり、傷がついてしまう病気です。手術で瞼を正常の位置に戻すことで治療を行います。



手術前



手術後

以前まではナイフで切開し、熱凝固で止血をしていましたが、術後の瞼の腫れが続き患者様に負担をかけていました。現在は炭酸ガスレーザーの導入により、切開と止血が同時に行えるため、術中の出血も少なく術後の瞼の腫れを最小限に抑えることが可能になりました。



その他治療

アレルギー外来

アレルギー疾患の有病率は世界的に増加しており、また低年齢化していると言われています。主に難治性のアレルギー性結膜疾患で原因や生活上の注意点を知りたい方、角膜障害、点眼ではコントロール不良の重症なアレルギー性結膜疾患の方を対象としています。涙液中総 IgE 抗体測定（アレルウォッチ涙液 IgE）、血液検査での抗原特異的 IgE 抗体測定（RAST 法のほかに、イムノクロマト法により 8 項目の結果がその場でわかるイムノキャプチャピッドも検査可能）、皮膚テストや点眼誘発テストなどによって I 型アレルギー反応の証明を行うことで、原因となる抗原の種類に応じた回避法を提案します。治療は点眼などの外用療法を中心とし、重症例ではステロイド結膜下注射や結膜乳頭切除などの外科的治療を組み合わせで行います。

舌下免疫療法

スギ花粉症を対象とした「舌下免疫療法」のための治療薬シダトレンが発売開始され、当院でも治療を開始しました。これは、原因となるアレルゲン（スギ花粉）を少量ずつ摂取することを繰り返してアレルギー症状を徐々に緩和させる治療で、アレルゲン免疫療法と呼ばれています。症状緩和を中心とした既存の治療法と違い、アレルギー体質そのものを少しずつ変えていくという新しい画期的な方法です。アレルゲン免疫療法としては、従来から皮下注射でアレルゲンの摂取を継続していくという皮下免疫療法が行われてきました。舌下免疫療法は、皮下免疫療法と比較して全身に影響を及ぼす重篤な副作用が少なく、安全面でも注目されています。花粉飛散期の 3 ヶ月程度前からの治療開始が必要ですので、スギ花粉症の場合 2 月ぐらいから花粉飛散が始まることを考えると、11 月以前からの治療開始が望ましいとされています。費用は 3 割負担の方で初回がおよそ 5000 円、3 ヶ月毎に 2000 円程度です。ダニアレルギーに対する舌下免疫療法も開始しました。

眼精疲労外来

眼精疲労はいくつもの原因が組み合わさって起こり、様々な症状が現れます。ひとつひとつ原因解明を行い、根気よく治療することが大切です。経験豊富な医師と視能訓練士が時間をかけて原因究明し、最適な治療法をご提案します。また、アロマの香りに包まれた部屋で目の疲れに効くツボ押しマッサージを行い心身ともにリラックスしていただきます。当院では、アロマセラピストの資格があるスタッフがマッサージをし、サウンドヒーリングも取り入れています。



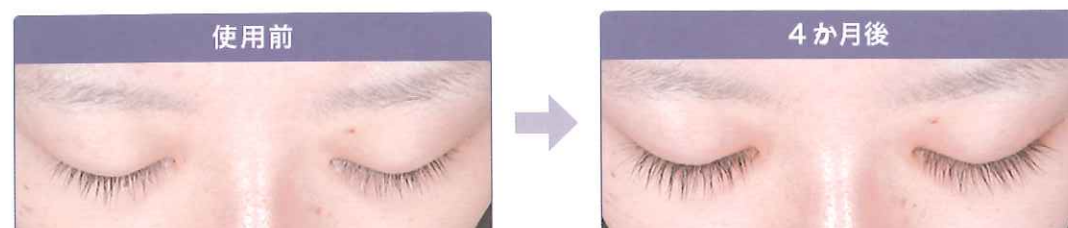
サウンドヒーリング

音は、音波として体の細胞に細かな波紋を広げ、体の中を伝わっていきます。心地よい上質の体感振動として体の深部に物理的マッサージ効果をもたらし、血流やリンパの流れを促進させます。ヘッドホンで音楽を聴きながら、サウンドクッション（リラックス効果の高い低音域の音を骨伝導で体に伝える）を腹部や背中に当て、体と心を癒します。



■ 睫毛貧毛症への治療

まつ毛エクステンションによるトラブルで受診される患者様が増えたため、睫毛貧毛症を治療する外用薬グラッシュビスタを2014年11月に導入しました。初診時2万5千円(検査、診察、薬代)で、カウンセリングと眼科検査の上、外用薬を処方します。その後は安定したら2ヶ月に1度来院していただきます(2回目以降の処方2万円:検査、診察、薬代)。日本人での臨床試験において、特発性睫毛貧毛症や、がん化学療法による睫毛貧毛症の成人患者に4ヶ月使用した結果、評価スケールで1段階以上の改善が75～89%認められたと報告されています。副作用のなかに、虹彩色素過剰や眼瞼溝深化、眼瞼色素沈着や結膜充血がありますので、眼科での処方と経過観察が必要です。



2ヶ月後には効果が出始め、4ヶ月後には太く、長く、濃くなっているのが分かります。

■ 子供の近視抑制プロジェクト

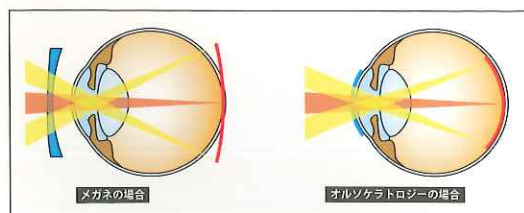
最近では、エビデンスに基づいた近視抑制方法が数多く報告されています。当院では、お子様にもできる安全な近視抑制方法をご提案しています。

● オルソケラトロジー

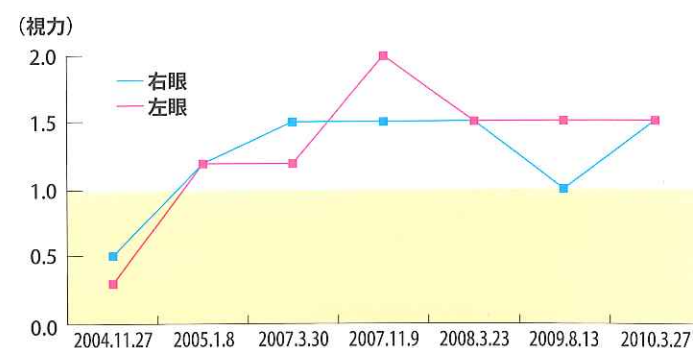
近年、オルソケラトロジーコンタクトレンズの近視抑制効果について、国内外で様々な研究が行われ発表されています。近視眼に対して通常の単焦点メガネで矯正を行うと、周辺部の遠視性デフォーカスを生じます。それに対してオルソケラトロジー後は周辺部角膜が肥厚、ステープ化するため周辺での屈折力が増し、その結果、周辺網膜像での遠視性デフォーカスが改善するという仮説が提唱されています。

〈症例〉オルソケラトロジーを9歳(小学校4年生)から開始し、9年以上経過した女子の視力の経過

9年以上経過した現在も、近視が進行することなく両眼1.5以上の良好な視力を維持しています。角膜内皮細胞への影響も全く認められていません。小学校4年生から高校3年生までの成長期に近視が進行していないことから、抑制効果を得られる可能性があるのではないかと考えられます。

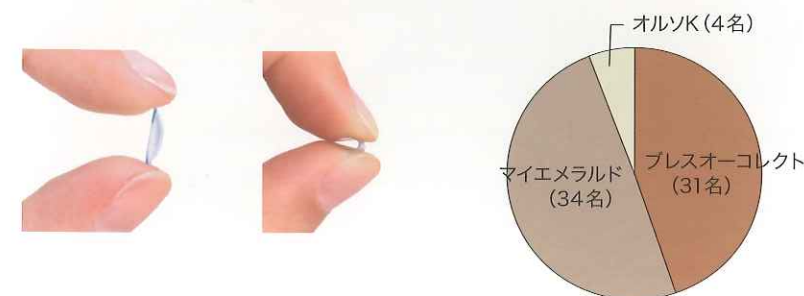


オルソケラトロジーでは周辺網膜のデフォーカスが改善し、眼軸長の延長が抑制されることで、近視の進行予防につながると言われています。



ブレスオーコレクトの特徴

- ①日本人の角膜に合うよう特別にデザインされた日本人向けのレンズです。
- ②現在承認を受けているオルソケラトロジーレンズの中で、酸素透過性が最も高く、睡眠中も角膜へ十分な酸素が供給できます。
- ③東レのしなやかで、割れにくい素材を使用しています。
- ④割れにくい素材を用いているので、装用感がより良いものになっています。



69名実施中(2015年12月現在)
※37名が15歳未満の方

マイエメラルドの特徴

- ①オルソケラトロジーレンズの歴史が長い
- ②視力の回復が早い

● アトロピン 0.01%点眼液

以前から、アトロピンには近視抑制効果があることが分かっていたのですが、副作用が強く、子供には使えないと考えられてきました。しかし、最近濃度を薄くしても十分効果があるという報告があり、再び近視予防に使われ始めました。アトロピンは眼軸長延長に関与する脈絡膜や強膜に分布するムスカリン受容体に直接作用し、これをブロックするため、近視抑制効果があると言われています。100倍に薄めたアトロピンでは散瞳作用や調節麻痺作用は起こりません。海外の論文*では、副作用が最小限で、なおかつ十分な近視抑制効果が得られることが示されています。

※参考文献

Chia A, Chua WH, Wen L, Fong A, Goon YY, Tan D: Atropine for the treatment of childhood myopia: changes after stopping atropine 0.01%, 0.1% and 0.5%. Am J Ophthalmol. 2014 Feb; 157 (2) 451 - 457. e1.

● トロピカミド点眼液

2～3ヶ月で効果がなければアトロピン処方やメガネ処方を行います。

● 遠近両用コンタクトレンズ

8歳くらいまでが効果的と言われています。

● サポートメガネ

調節力をサポートするメガネ(累進焦点メガネ)です。調節ラグを軽減させ、眼軸延長を抑制すると言われています。

学会発表

■第38回日本手術学会学術総会

吉田陽子：「左右に異なる屈折型多焦点眼内レンズを挿入した一例」

■角膜カンファランス 2015 第39回日本角膜学会総会／第31回日本角膜移植学会

小島隆司：「動的シャインプルーク像解析装置による正常眼とLASIK術後眼の生体力学特性の比較」

高木麻里：「円錐角膜に対して角膜リング（Keraring）を使用した初期症例の手術成績」

■第30回JSCRS学術総会

中村友昭：シンポジウム「円錐角膜に対する屈折矯正手術」

中村友昭：「ICL術後の白内障」

小島隆司：「角膜クロスリンキングの初期・中期成績の報告」

小島隆司：インストラクションコース「実践！円錐角膜診断から治療まで」

馬嶋清如：「ICL挿入前、後におけるICL全長の変化：画像解析を使用した比較」

■第3回JSCRSサマーセミナー

中村友昭：「トリフォーカル眼内レンズ」

■第54回日本白内障学会総会・第41回水晶体研究会

市川翔：「ICL挿入術後白内障の病型」

磯谷尚輝：「回折型3焦点眼内レンズFINE VISIONの術後早期成績」

■第51回日本眼光学学会総会

片岡嵩博：「スマイル術前後の非球面係数の変化の検討」

■第69回日本臨床眼科学会

中村友昭：シンポジウム「老眼レーシック」

中村友昭：インストラクションコース「白内障サージャンも必見！LI不要！貫通孔付き有水晶体眼内レンズをマスターしよう」

中村友昭：インストラクションコース「屈折矯正手術2015 治療的角膜屈折手術」

小島隆司：「進行性円錐角膜症例における角膜クロスリンキング前後の角膜の生体力学特性の変化」

吉田陽子：「SMILE手術における角膜後面変化について」

論文・執筆

中村友昭：「メガネ、コンタクトレンズから解放するLASIK」医学のあゆみ Vol.253 No.2 2015

中村友昭：「最前線の治療I 後房型フェイクICK IOL」眼科ケア Vol.17 No.8 2015

吉田陽子：「屈折矯正手術の適応・選択」IOL&RS Vol.29 No.1 Mar 2015

吉田陽子：「老視LASIK」眼科グラフィック vol.4 no.5 2015

小島隆司：「フェムトセカンドレーザーを用いた角膜移植のコツ」眼科手術 Vol.28 No.1 2015

小島隆司：「ドライアイの新しい治療・涙液全体を保持する涙点プラグ、コラーゲンプラグ」新しい眼科 Vol.32 No.7 2015

小島隆司：「新しい検査機器の読み方 Corvis ST」IOL & RS Vol.29 No.3 2015

片岡嵩博：「スマイルとレーシック術後1年の経過報告」日本視能訓練士協会誌 Vol. 44, 2015

西田知也：「高速シャインプルーク技術を用いた眼圧計 Corvis ST と他の眼圧測定器機の比較」日本視能訓練士協会誌 Vol. 44, 2015

社会貢献

医療を通じて社会に貢献する

■骨髄バンク普及映画「迷宮カフェ」の制作を支援

骨髄バンクの普及と啓発を目的とした映画製作を支援しました。



支援を続けています

■もうまく基金

今はまだ不治の眼病である「網膜色素変性症」を治せる病にすることを目指した活動

■アイバンク募金

年に数回、財団法人愛知県眼衛生協会（愛知県アイバンク）へ寄付しています。

■盲導犬育成のための募金

毎年、募金は財団法人日本盲導犬協会へ寄付しています。



■ペットボトルのキャップでポリオワクチンを！

NPO 法人 Re ライフスタイルに送った後、リサイクル業者に売却され、その売却益が「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付されます。



■桃・柿育英会

東日本を襲った大地震や大津波で、保護者を突然失った多くの遺児たちを10年以上支援する桃・柿育英会（東日本大震災遺児育英資金）の活動に参加し、2015年には5回目の寄付金分配が行われました。少なくとも10年間は子どもたちの成長を見守りながら、良好な教育環境の中で学んでいく意欲を支え続けたいと考えています。



■待合室で社会貢献紙コップ

待合室に置いてある社会貢献紙コップは、売上の3%が東日本大震災の復興支援金として寄付されます。



■ホープ・インターナショナル開発機構への支援

このNPOはアジアやアフリカにおいて、安全な水の供給、衛生教育、学校教育などを支援し、貧困から抜け出せるようにサポートする団体です。今後も、恵まれない地域の子どもの健康や成長を見守っていきます。



HOPE International
Development Agency

■リサイクルメガネの寄付

世界各地の難民、国内避難民の方々にメガネを送る海外難民視力支援ミッションに協力しています。

■清流堀川を守る活動

伝統の「堀川祭り」を通して、清流を守る活動に協力しています。

■子育て支援レーシック（吉田陽子副院長執刀）

子育てを頑張るお父様、お母様を応援するプロジェクトです。



■ボランティア応援レーシック（小島隆司医師執刀）

社会貢献する方を応援するプロジェクトです。